全労大阪聯合会　一八、七七〇
総同盟大阪聯合会　一三、八九九
総聯合大阪聯合会　一〇、八八七
官業大阪聯合会　四、〇〇一
日本労働総聯盟　七、六八九
大阪市局斗同盟　六、二六〇

全労統一同盟のデマ、國家社会主義運動の進展にともない労働同盟の結成にかゝわって、先きに述べた様
報告の中に述べたるごとく、吾が聯合会の組織の人数は同等の影響を受けることは、いうまでもない。
然かし、反動期の情勢と、守勢的闘争戦における大阪運輸労働組合来港支部聯合会の崩壊と、
のに　　若し減少を見たことは甚だ遺憾とするところであるが、此の損失は、インフレに
よる賃銀値上斗争の所産によって漸次償はれつゝある。
組織形態の上から見れば、大阪化学一般の業労働組合の一支部聯合会たりし機物支部聯合の
独立を承認し、これに独立団体たりし大阪毛織機物組合の加入によって、両団体を合同して
大阪機物労働組合を結成した。
大阪市従業員組合聯盟は、その中に三組合を分離して、ゐることを不利とし、各組合を解体
大阪都市従業員組合を結成した。
泉州金属労働組合は、其名称に反し、実質は合同労働の組織であり、吾が聯合会には不適
であるかつたが、これを同盟の組織方針に従って、泉州労働組合を組織し、吾が聯合会に
を承認した。
以上の外に記すべきものは、かつて日本労働総同盟の解散に際し、その組織を有せざりし大阪自動車